

コレステロールキット

エクティア[®] XL '栄研' CHO II

はじめに

コレステロールは主としてLDLとHDL、一部VLDL中に存在し、総コレステロールの約2/3がエステル型で1/3が遊離型として存在します。血中のコレステロールの濃度は、肝および腸管におけるコレステロールの生成・吸収、異化や血中リポ蛋白代謝と密接に関連し、その測定は体内脂質代謝異常の指標として重要です。また動脈硬化性疾患のリスクファクターとしても有用です^{1,2)}。
エクティアXL '栄研' CHO IIは、酵素法に基づいて血清又は血漿中の総コレステロールを測定する試薬です。



特徴

- 血漿測定が可能です。
- 使いやすい液状試薬です。
- ビリルビン, 溶血, アスコルビン酸, 乳びなどの共存物質の影響はほとんどありません。
- 各種自動分析装置への適用が可能です。

包装単位・貯蔵方法・有効期間

製品名	R1/R2	包装単位	製品コード	貯蔵方法	有効期間	適応機種例
エクティア [®] XL '栄研' CHO II	試薬-1	50mL×4	G-DC31	2～10℃	18ヵ月間	日立7180
	試薬-2	20mL×4	G-DC42			
	試薬-1	85mL×4	G-DC33			日立7070
	試薬-2	45mL×4	G-DC34			
	試薬-1	400mL×2	G-DC35			日立7250
	試薬-2	200mL×2	G-DC36			

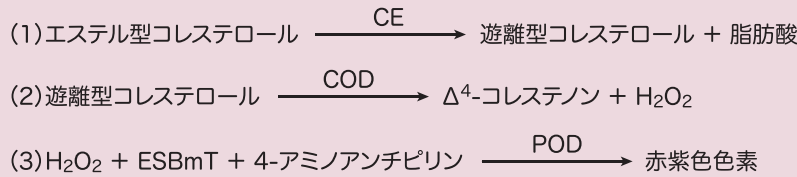
(別売標準)

製品名	包装単位	製品コード	貯蔵方法	有効期間
リピッドキャリブプレートXL '栄研'	2mL分×3	G-DN94	2～10℃	1年間

測定原理

検体中のコレステロールはエステル型コレステロールと遊離型コレステロールに分類されます。エステル型コレステロールはコレステロールエステラーゼ(CE)の作用で遊離型コレステロールとなります。これらの遊離型コレステロールは、コレステロールオキシダーゼ(COD)により酸化され、過酸化水素を生じます。過酸化水素はペルオキシダーゼ(POD)の存在下で4-アミノアンチピリンとESBmTを酸化縮合させ、赤紫色色素を生成します。

この赤紫色色素の吸光度を測定することにより総コレステロール量を求めます。



使用目的

血清又は血漿中の総コレステロールの測定

測定範囲

5 ~ 1000 mg/dL

基礎データ³⁾

測定機器: 日立7180形自動分析装置

■ 同時再現性

単位: mg/dL

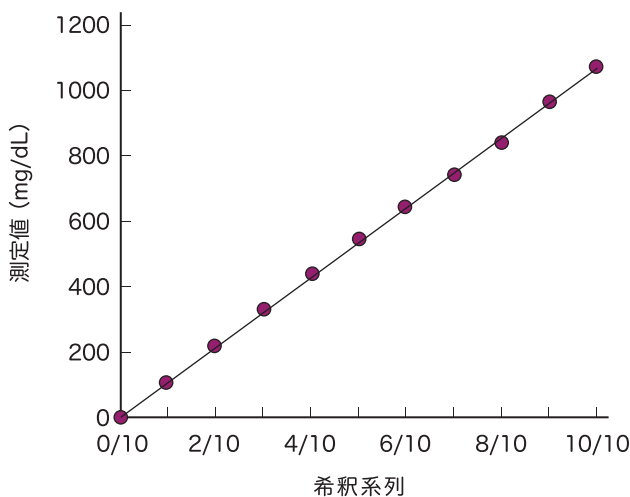
	試料1	試料2	試料3
N	20	20	20
Mean	160.6	281.2	494.2
S.D.	1.1	2.3	1.9
C.V.(%)	0.7%	0.8%	0.4%
Max.	163	286	500
Min.	159	277	492
Range	4	9	8

■ 妨害物質

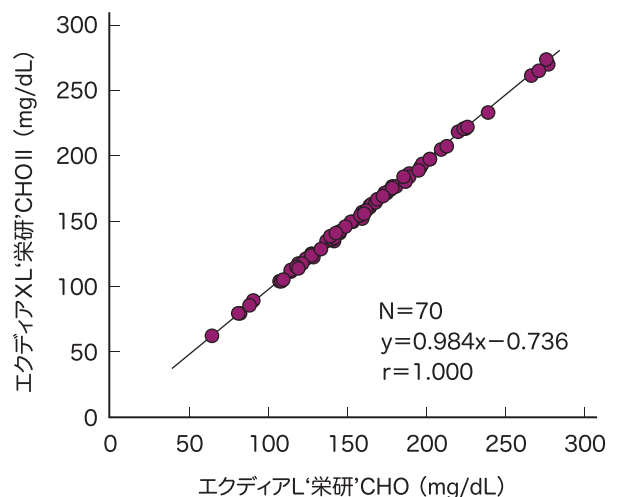
下記濃度まで測定値への影響は認められませんでした。

アスコルビン酸	50 mg/dL
遊離型ビリルビン	36.4 mg/dL
抱合型ビリルビン	42.4 mg/dL
ヘモグロビン	500 mg/dL
イントラリポス	5 %

■ 希釈直線性



■ 相関性



主要文献

- 1) 金井 正光, 他: 臨床検査法提要, 改訂第32版, 金原出版, 東京, 539-542, 2005.
- 2) 瀧 雅成, 他: 日本臨床, 62(増刊号12): 10-13, 2004.
- 3) 社内データ

本試薬の使用上または取扱い上の注意については、製品添付文書をご参照ください。